

# 算定様式（A様式）の作りかた

## 共通

### ① 賦課金番号

- 申告書に入力されている汚染負荷量賦課金番号を入力してください。

申告書に入力した納付義務者名、工場・事業場名を入力してください。

### ② ナンバー No.

- A様式の全使用枚数と通し番号です。この例では、全5枚のうちの2枚目であることを表します。

● Excel雛型ファイルで様式を追加するごとに、自動的にNo.が付与されます。

### ③ 燃原料の種類

- 実際に使用している燃原料の名称を選択してください。

● 実際に使用している燃原料の名称を入力してください。

燃原料のコードは、燃原料コード表（73ページ）から選択し、入力してください。

### ④ 使用量の単位

- 使用する燃原料に応じて、該当する単位を選択してください。（ $kl$  や  $t$  は使用しないでください。）
- 液体の場合： $l$ 、kg 固体の場合：kg 気体の場合： $m^3/N$  kg

### ⑤ 施設名

- 「ボイラー」など、対象となる施設の名称を入力してください。

● 同じ燃原料を複数の施設で使用している場合は1枚のA様式にまとめて入力できます。（ただし、脱硫装置が設置されている場合は、同じ燃原料を使用していても、脱硫装置の施設の有無ごとにA様式を作成してください。）

### ⑥ 脱硫の有無

- 脱硫がない場合は「無」、脱硫がある場合は、該当する脱硫方式を選択してください。（複数選択可）

平成XX年度汚染負荷量賦課金 年間排出量の算定の過程を示す書類（A）						
①賦課金番号 03309012	②工場・事業場名 青空工業（株）仙台工場	③燃原料の種類 C重油	④使用量の単位 $l$	⑤施設名 2号ボイラー	②No. A- 02 枚目 05 全枚数	⑥脱硫の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 排煙脱硫 <input type="checkbox"/> 集じん等脱硫 <input type="checkbox"/> 製品等脱硫
⑦使用年月 XX年	⑧使用量 $l$	⑨密度 $g/cm^3$	⑩含有硫黄分 %	⑪補正後の脱硫効率 %	⑫SO <sub>x</sub> 排出量 $m^3/N$	
1月	440,588	0.944	2.28	84.54	1,026.2	
2月	461,324	0.944	2.25	84.54	1,060.3	
3月	480,718	0.946	2.23	85.13	1,055.5	
4月	499,663	0.945	2.26	85.13	1,110.7	
5月	500,841	0.944	2.17	85.89	1,013.3	
6月	501,032	0.940	2.22	85.89	1,032.6	
7月	480,305	0.941	2.30	86.12	1,010.0	
8月	368,274	0.941	2.34	86.12	787.8	
9月					0.0	
10月	480,392	0.938	2.32	85.78	1,040.6	
11月	499,457	0.942	2.34	85.92	1,085.0	
12月	506,656	0.942	2.27	85.92	1,067.8	
年間計	5,219,250				11,289.8	
⑬年間使用量						
⑭年間SO <sub>x</sub> 排出量（ $m^3/N$ ）						

⑮操作のしかたは、16ページをご覧ください。

## 「各月使用」で入力する場合（通常）

### ⑦ 使用年月（入力済みです）

### ⑧ 使用量

- 燃原料の使用量を各月ごとに集計し、小数点以下の端数を切り捨てた整数値を入力してください。

● 使用実績が無い月は、その月全体を空欄にしてください。「0」を入力すると、エラーとなります。

### ⑨ 密度（ $g/cm^3$ ）\*

- 燃原料購入先の成績表などの数値を利用して、小数点以下4けた目を切り捨て、3けたまでの数値を入力してください。

### ⑩ 含有硫黄分（%）\*

- 燃原料購入先の成績表などの数値を利用して、小数点以下3けた目を切り捨て、2けたまでの数値を入力してください。

● 燃原料の硫黄分が硫黄化合物の場合は、硫黄分に換算してください。（18ページ）

● 硫黄分の分析データが無い場合は、標準的硫黄分一覧（73ページ）の数値を使用してください。

● 含有硫黄分の単位は、それぞれ下記のとおりです。

液体の場合（ $l$ ）：質量% 固体の場合（kg）：質量% 気体の場合（ $m^3/N$ ）：容量%（%（vol））

### ※「密度」「含有硫黄分」計算時の留意点

- 自社測定によらざるを得ない場合は、理由・測定方法・測定者・測定データを明記した書類を添付してください。

● 同じ月に密度や含有硫黄分が異なる燃原料を使用した場合は、それぞれの成績表などの数値を使用して加重平均

した値を入力してください。また、その場合加重平均一覧表を作成し、添付してください。（39ページ）

### ⑪ 補正後の脱硫効率（%）

- 脱硫装置を使用している場合、または燃原料など硫黄分が吸収または残留する場合にはE様式を作成し、E様式中の「2. (4)⑦補正後の脱硫効率」の数値を入力してください。

### ⑫ SO<sub>x</sub>排出量（ $m^3/N$ ）

- 月ごとのSO<sub>x</sub>排出量を計算し、小数点以下2けた目を切り捨て、1けたまでの数値を入力してください。（18ページ）

● ⑧～⑪を入力すると、自動的に計算されます。

### ⑬ 年間使用量

- 各月を入力すると、自動的に計算されます。

● 1月～12月の使用量の合計を入力してください。

### ⑭ 年間SO<sub>x</sub>排出量（ $m^3/N$ ）

- 各月のSO<sub>x</sub>排出量が、自動的に合計されます。

● 1月～12月のSO<sub>x</sub>排出量を合計し、小数点以下2けた目を切り捨て、1けたまでの数値を入力してください。